



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8291 URL <https://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 米澤 領一 (TEL) 03-5496-5203
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	96,701	△11.9	918	△63.1	676	△70.0	313	△76.3
2020年3月期第3四半期	109,727	△1.6	2,491	△7.8	2,252	△5.1	1,318	△14.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 870百万円(△59.5%) 2020年3月期第3四半期 2,150百万円(72.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	4.73	—
2020年3月期第3四半期	19.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	90,309	43,305	46.0
2020年3月期	85,840	42,727	47.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 41,559百万円 2020年3月期 41,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△15.1	1,800	△58.6	1,400	△65.2	200	△91.1	3.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	66,635,063株	2020年3月期	66,635,063株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	366,174株	2020年3月期	455,737株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	66,220,948株	2020年3月期3Q	66,320,856株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における全国の新車販売台数は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年同四半期比12.0%減となりました。

当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数は同15.6%減と全国に比べて厳しい状況でありましたが、当社グループの新車販売台数は17,459台、同14.6%減となりました。

四半期ごとの新車販売台数の前年同四半期比は下表の通りであり、着実に回復しております。

	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	累計 (4月～12月)
当社グループ	64.2%	86.0%	109.4%	85.4%
全国	68.2%	85.4%	114.6%	88.0%
都内	63.8%	84.0%	107.5%	84.4%

当社グループでは、お客さまと従業員の安全確保を最優先に考え、衛生管理を徹底した店舗運営を継続した上で販売台数の回復に取り組んでまいりました。

これらにより当社グループの経営成績は、第3四半期連結会計期間（10月～12月）において増収増益となった結果、当第3四半期連結累計期間では、売上高は96,701百万円（前年同四半期比13,025百万円減、11.9%減）、営業利益は918百万円（前年同四半期比1,572百万円減、63.1%減）、経常利益は676百万円（前年同四半期比1,576百万円減、70.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は313百万円（前年同四半期比1,005百万円減、76.3%減）となっております。

当社グループは、自動車関連事業および情報システム関連事業を主な事業として展開しており、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 自動車関連事業

当社グループでは、衛生管理を徹底した店舗運営を継続した上で、新型車（ノート・キックス・ルークス）、電気自動車（リーフ）、および引き続き好評を得ているセレナ・デイズを中心に新車販売台数の拡大に取り組んでまいりました。

新車販売台数の回復に加え、中古車販売も好調に推移するとともに、整備事業においても車検整備の入庫台数が前年超えとなったことなどから、上半期の減収減益幅を縮小し、売上高は91,811百万円（前年同四半期比11,881百万円減、11.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1,223百万円（前年同四半期比1,467百万円減、54.5%減）となりました。

本年1月に緊急事態宣言が再発出されるなど、新型コロナウイルスの収束の目処は未だ不透明ではありますが、感染拡大防止策を徹底しながら販売台数の拡大に引き続き取り組んでまいります。

② 情報システム関連事業

データセンターなどのマネージドサービス事業は堅調に推移するとともに、販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染再拡大の影響により、ハードウェア、ソフトウェア、導入支援サービスといったフロー案件が減少した結果、売上高は4,648百万円（前年同四半期比1,139百万円減、19.7%減）、セグメント利益（営業利益）は194百万円（前年同四半期比152百万円減、43.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は90,309百万円（前連結会計年度比4,468百万円増、5.2%増）となりました。主な内容は、現金及び預金が8,393百万円、商品が533百万円、投資有価証券が673百万円、その他投資資産が559百万円増加し、受取手形及び売掛金が2,890百万円、その他流動資産が201百万円、有形固定資産が2,254百万円、繰延税金資産が286百万円減少しております。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は47,004百万円（前連結会計年度比3,890百万円増、9.0%増）となりました。主な内容は、1年内を含む長短借入金が増加し、買掛金が755百万円、賞与引当金が660百万円、長短リース債務が291百万円減少しております。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は43,305百万円（前連結会計年度比578百万円増、1.4%増）となりました。主な内容は、配当金の支払がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が46百万円、その他有価証券評価差額金の増加などによりその他の包括利益累計額が468百万円、非支配株主持分が36百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2020年11月6日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,147	16,540
受取手形及び売掛金	7,370	4,479
商品	11,123	11,657
仕掛品	218	249
貯蔵品	51	63
その他	2,353	2,151
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	29,259	35,138
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,796	7,442
リース資産（純額）	5,469	5,178
土地	23,304	23,304
その他（純額）	7,992	6,384
有形固定資産合計	44,563	42,309
無形固定資産		
のれん	993	925
その他	262	229
無形固定資産合計	1,256	1,155
投資その他の資産		
投資有価証券	3,626	4,299
繰延税金資産	2,785	2,498
その他	5,017	5,576
関係会社投資等損失引当金	△552	△552
貸倒引当金	△116	△116
投資その他の資産合計	10,760	11,706
固定資産合計	56,581	55,171
資産合計	85,840	90,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,546	11,790
短期借入金	2,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000	2,200
リース債務	421	389
未払法人税等	619	503
賞与引当金	1,313	652
その他	5,961	6,079
流動負債合計	23,862	24,616
固定負債		
長期借入金	2,600	6,050
リース債務	5,054	4,794
繰延税金負債	138	188
退職給付に係る負債	10,990	10,860
資産除去債務	321	337
その他	146	155
固定負債合計	19,251	22,388
負債合計	43,113	47,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	248	247
利益剰余金	26,226	26,273
自己株式	△131	△105
株主資本合計	40,095	40,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,199	1,662
退職給付に係る調整累計額	△277	△270
その他の包括利益累計額合計	922	1,391
非支配株主持分	1,708	1,745
純資産合計	42,727	43,305
負債純資産合計	85,840	90,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	109,727	96,701
売上原価	84,604	74,706
売上総利益	25,122	21,995
販売費及び一般管理費	22,631	21,076
営業利益	2,491	918
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	95	86
雑収入	75	56
営業外収益合計	172	142
営業外費用		
支払利息	98	106
支払手数料	201	208
雑損失	112	70
営業外費用合計	411	385
経常利益	2,252	676
特別利益		
助成金収入	—	※1 296
特別利益合計	—	296
特別損失		
固定資産除売却損	36	21
新型コロナウイルス対応による損失	—	※2 295
特別損失合計	36	317
税金等調整前四半期純利益	2,215	655
法人税、住民税及び事業税	287	130
法人税等調整額	494	127
法人税等合計	781	258
四半期純利益	1,433	396
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,318	313

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,433	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	740	467
退職給付に係る調整額	△24	6
その他の包括利益合計	716	473
四半期包括利益	2,150	870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,028	781
非支配株主に係る四半期包括利益	121	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)の特別利益に計上しております「助成金収入」は、新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置による雇用調整助成金等であります。

※2. 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)の特別損失に計上しております「新型コロナウイルス感染症対応による損失」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための政府による緊急事態宣言や各自治体からの自粛要請を受け、これらへの対応に伴い当社グループにおいて発生した損失(従業員への休業補償など)であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	103,693	5,787	109,481	245	109,727
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4	452	457	—	457
計	103,698	6,240	109,939	245	110,184
セグメント利益	2,690	346	3,037	101	3,138

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,037
「その他」の区分の利益	101
全社費用(注)	△646
四半期連結損益計算書の営業利益	2,491

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,811	4,648	96,459	242	96,701
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6	328	334	—	334
計	91,818	4,976	96,794	242	97,036
セグメント利益	1,223	194	1,417	98	1,516

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,417
「その他」の区分の利益	98
全社費用（注）	△597
四半期連結損益計算書の営業利益	918

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2021年1月20日開催の取締役会において、当社連結子会社である日産プリンス東京販売株式会社を吸収合併存続会社、当社連結子会社である東京日産自動車販売株式会社及び日産プリンス西東京販売株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併及びこれに伴い商号変更を行うことを決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

① 結合企業

名称 日産プリンス東京販売株式会社（当社の100%子会社）
事業の内容 自動車の販売、整備、部用品の販売

② 被結合企業

名称 東京日産自動車販売株式会社（当社の100%子会社）
事業の内容 自動車の販売、整備、部用品の販売
名称 日産プリンス西東京販売株式会社（当社の100%子会社）
事業の内容 自動車の販売、整備、部用品の販売

(2) 企業結合日

2021年7月1日（予定）

(3) 企業結合の法的形式

日産プリンス東京販売株式会社を存続会社、東京日産自動車販売株式会社及び日産プリンス西東京販売株式会社を消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

日産東京販売株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

3つの販売会社を統合することで、当社グループの事業資源や人員配置を最適化させ、あらゆる場面で効率とシナジーを高め、新たな取り組みにチャレンジすることで持続的成長を果たすことを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理を実施する予定であります。